

全国高等学校総合体育大会組み合わせ基準

令和 8年 7月 22日

(公財)全国高体連バドミントン専門部

第2条 (公財)全国高体連専門部規約第10章第20条により、全国高校高等学校総合体育大会の組み合わせ基準を次のように定める。

1 学校対抗(団体戦)

第1条件

前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞校を入れる。

※1 位、2 位、3 位、5 位の順に入れる。

※1位、2位、3位はブロックを考慮しない。ただし、3 位の抽選、5位の抽選において同一ブロックから複数チームが該当する場合はブロック順位を参考とする。

第2条件

ブロック第1代表を入れる。(開催地第 1 代表を含む)

第3条件

ブロック第2代表を入れる。(開催地第2代表を含む)

第4条件

上記の基準を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※ 第 1 条件の 1 位、2 位、3 位はブロックを考慮しない。それ以降は可能な限りブロック内の数のバランスを考慮して抽選を行う。

※ 試合番号1・9・10・18に入るのは、同ブロックから2つまでとする。

※ 初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする

## 個人対抗(ダブルス)

第1条件 前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞者を入れる。

※1 位、2 位、3 位、5 位の順に入れる。

※1位、2位、3位はブロックを考慮しない。ただし、3 位の抽選、5位の抽選において同一ブロックから複数該当する場合はブロック順位を参考とする。

第2条件 各ブロックの第1代表を入れる。(開催地第1 代表を含む)

第3条件 各ブロックの第2代表を入れる。(開催地第2代表を含む)

第4条件 上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※同一都道府県の選手は等分に抽選する。

※第1条件の1 位、2 位、3 位は地区ブロックを考慮しない。それ以降はできる限りブロック内の数のバランスを考慮し抽選を行う。

※初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

※初回戦が前年度全日本ジュニア選手権大会と同じ対戦にならないようにする

## 3 個人対抗(シングルス)

第1条件 前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞者を入れる。

※1 位、2 位、3 位、5 位の順に入れる。

※1位、2位、3位はブロックを考慮しない。ただし、3 位の抽選、5位の抽選において同一ブロックから複数該当する場合はブロック順位を参考とする。

第2条件 ブロック1位を入れる。(開催地第1 代表を含む)

第3条件 ブロック2位を入れる。(開催地第2代表を含む)

第4条件 上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※ 同一都道府県の選手は等分に抽選する。

※第1条件の1 位、2 位、3 位はブロックを考慮しない。それ以降はできる限りブロック内の数のバランスを考慮し抽選を行う。

※ 初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

※ 初回戦が前年度全日本ジュニア選手権大会と同じ対戦にならないようにする

全国高等学校選抜大会組み合わせ基準

令和 8年 7月 22日

(公財)全国高体連バドミントン専門部

第2条 (公財)全国高体連専門部規約第10章第20条により、全国高校選抜大会の組み合わせ基準を次のように定める。

1 学校対抗(団体戦)

第1条件

同年度全国高校総体ベスト8入賞校を入れる。

※1位、2位、3位、5位の順に入れる。

※1位、2位、3位はブロックを考慮しない。ただし、3位の抽選、5位の抽選において同一ブロックから複数チームが該当する場合はブロック順位を参考とする。

第2条件

ブロック第1代表を入れる。(開催地第1代表を含む)

第3条件

ブロック第2代表を入れる。(開催地第2代表を含む)

第4条件

上記の基準を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※ 第1条件の1位、2位、3位はブロックを考慮しない。それ以降は可能な限りブロック内の数のバランスを考慮して抽選を行う。

※ 試合番号1・9・10・18に入るのは、同ブロックから2つまでとする。

※ 初回戦が同年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。

## 2 個人対抗(ダブルス)

第1条件 同年度全日本ジュニア選手権大会ベスト8入賞者を入れる。

※1 位、2 位、3 位、5 位の順に入れる。

※1位、2位、3位はブロックを考慮しない。ただし、3 位の抽選、5位の抽選において同一ブロックから複数チームが該当する場合はブロック順位を参考とする。

第2条件 各ブロックの第1代表を入れる。(開催地第 1 代表を含む)

第3条件 各ブロックの第2代表を入れる。(開催地第 2 代表を含む)

第4条件 同年度全国高校総体ベスト8入賞者を入れる

第5条件 上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※同一都道府県の選手は等分に抽選する。

※第 1 条件の 1 位、2 位、3 位はブロックを考慮しない。それ以降はできる限りブロック内の数のバランスを考慮し抽選を行う。

※初回戦が同年度全日本ジュニア選手権大会と同じ対戦にならないようにする

※初回戦が同年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。

## 3 個人対抗(シングルス)

第1条件 同年度全日本ジュニア選手権大会ベスト8入賞者を入れる。

※1 位、2 位、3 位、5 位の順に入れる。

※1位、2位、3位はブロックを考慮しない。ただし、3 位の抽選、5位の抽選において同一ブロックから複数チームが該当する場合はブロック順位を参考とする。

第2条件 ブロック1位を入れる。(開催地第 1 代表を含む)

第3条件 ブロック2位を入れる。(開催地第2代表を含む)

第4条件 同年度全国高校総体ベスト8入賞者を入れる。

第5条件 上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※ 同一都道府県の選手は等分に抽選する。

※第 1 条件の 1 位、2 位、3 位は地区(ブロック)を考慮しない。それ以降はできる限り地区(ブロック)内の数のバランスを考慮し抽選を行う。

※ 初回戦が同年度全日本ジュニア選手権大会と同じ対戦にならないようにする

※ 初回戦が同年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。